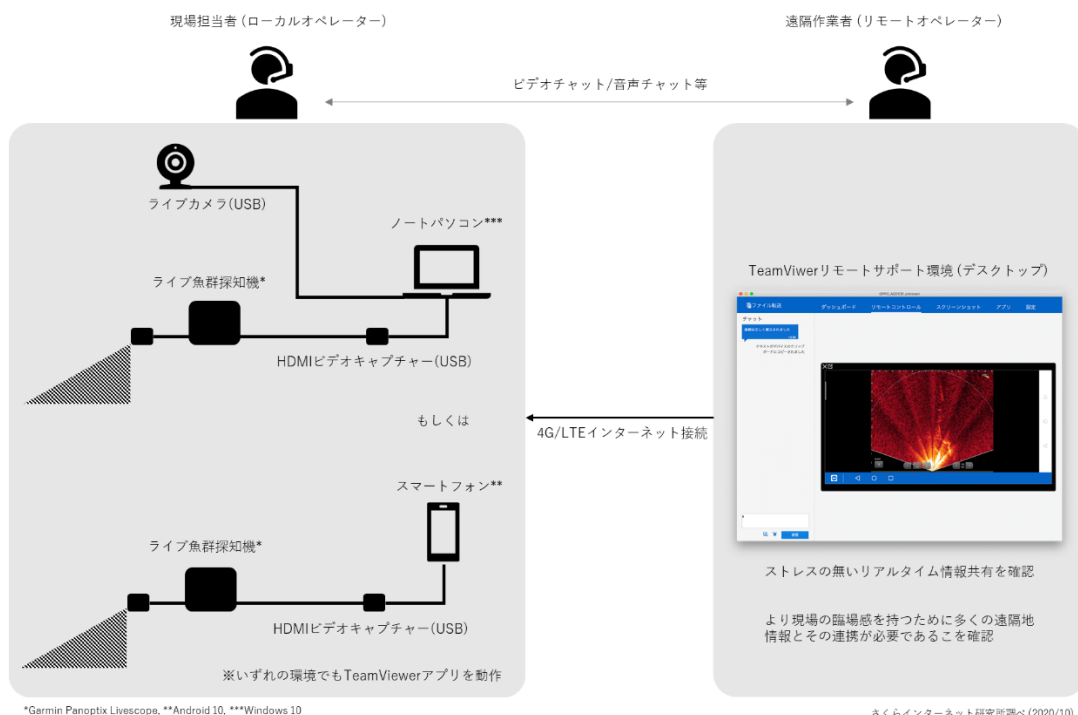


TeamViewer、さくらインターネットにリモート接続ソリューションを提供 水中調査のリアルタイム情報共有に向けた実証実験に成功

【2020年10月15日】リモート接続ソリューションのグローバルリーダーである TeamViewer ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、カンパリーマネージャー:西尾 則子、以下、チームビューワー)は、インターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:田中 邦裕)と共同で水中調査のリアルタイム情報共有に向けた実証実験に成功しましたことをお知らせいたします。

さくらインターネットの組織内研究所であるさくらインターネット研究所は、さまざまなセンサーやデバイスを通じた時空間上の情報収集と解析に取り組んでいます。「いままで見るできなかった情報や世界を見る化する」研究活動として水中調査も手掛けており、離れた場所をリモートでつなぐ技術を持つ『TeamViewer』を使い実証実験を行いました。今回の実験では、実際に市販のライブ魚群探知機の映像をスマートフォンに搭載された『TeamViewer』を通じてリアルタイムで情報共有を試み成功しています。この実験から『TeamViewer』が水中調査でも4G/LTEモバイル回線を通じたインターネット接続でもストレスなく作動し、リアルタイムでの映像共有が可能であることが実証されました。今後はこれら収集されたデータを多角的に活用することで現実世界とデジタル世界をつなぐ“デジタルツイン”を実現するための活動を継続します。

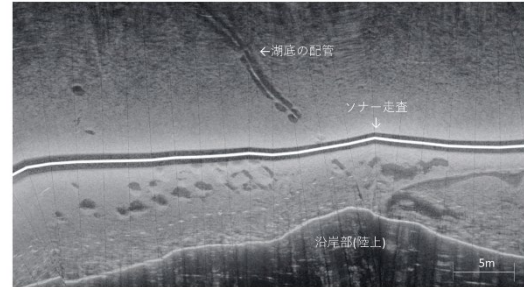
利用イメージとその考察



実証実験環境とその風景



水中調査によるソナーから得られたデータを元にした湖底の見える化（リモートから現場解析可能）



※記載の内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

チームビューワのビジネス開発部部長である小宮崇博は次のように述べています。「今回の実証実験では、『TeamViewer』を使ってライブ魚群探知機をリモート接続、データの可視化を実現、さらに、リアルタイムでの情報共有にも成功しました。あらゆるデバイス同士をリモートで繋ぐことができる『TeamViewer』は、様々なビジネスシーンでも情報の可視化や共有が可能となるリモート接続ソリューションとして、今後も活用の幅が広がると期待しています」。

さくらインターネット研究所の松本直人氏は次のように述べています。「今回の実証実験では、昨今、新型コロナウイルスの感染対策として社会的に求められるようになった移動制限に対して、スケジュールに遅延なく作業を進めるために、ITに不慣れな現場担当者とそれを遠隔支援する担当者を『TeamViewer』でつなぐというシナリオを評価しています。また、技術革新により作業現場で増大するデータとその転送の課題についても、遠隔地にいるデータ解析者が『TeamViewer』で現地の端末から直接データ解析を行うことで解決できることがわかりました。『やりたいこと』を『できる』に変えるという当社の理念のもと、今後も社会のデジタル化への流れを技術で支えるべく研究開発を推進してまいります」。

###

TeamViewer (チームビューワー)について

チームビューワーはリモート接続プラットフォームのグローバルリーダーです。PC、モバイル端末、工場の機械やロボットなどあらゆる人やもの、そして場所や時間を問わず世界のユーザーの接続を可能にしています。セキュリティの高いリモートアクセス、サポート、コントロール、コラボレーション機能がいかなるオンラインのエンドポイントでも提供でき、デジタル化を推進するあらゆる規模の企業を支援しています。『TeamViewer』は個人向けには無料で利用することができ、ユーザーは50万人以上。法人は中小企業から大企業まで、あらゆる業種の企業のデジタル化の推進を支援しています。デバイスの分散化、自動化、ニューノーマルといった環境の変化に対応し、チームビューワーではAR、IoT、AIの分野でのデジタルトランスフォーメーションやイノベーションを推進しています。2005年に会社設立以来、『TeamViewer』をダウンロードしているデバイスは現在22億台となっています。本社はドイツのゲッピンゲン、従業員は全世界で約1000名。TeamViewer AG (TMV)はフランクフルト証券取引所に上場、MADAX 株式指数構成銘柄となっています。TeamViewer ジャパン株式会社はTeamViewerの日本法人として2018年に設立。<https://www.teamviewer.com/ja/>

さくらインターネットについて

クラウドサービスなどインターネットインフラの提供を主事業として、大阪と東京、北海道の3都市に5つのデータセンターを展開しています。1996年の創業以来、個人から法人までさまざまなお客さまのニーズに合わせた、コストパフォーマンスの高いサービスを提供。新たなアイデアの創出に強い熱意と情熱を持って挑戦するすべての人たちのために、「やりたいこと」を「できる」に変える企業としてあらゆるアプローチをインターネットを通じて提供します。<https://www.sakura.ad.jp/>